

令和5年度 第4回 産業医科大学倫理委員会報告

- 1 日 時 令和5年7月5日(水) 13:30 ~ 15:40
2 場 所 大学本館2号館 多目的ホール
3 出席者(14名)
学内: 藤野(昭)、中山、齋藤、長田、足立、立石、庄司、大松、東、藤野(善)
学外: 櫻井、安元、田中、玉城
欠席者(2名)
学内: 矢寺、榎本
学外: なし

4 報告事項等

- (1) 藤野委員長から、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針の一部改正について、次の通り主な改正内容の説明があった。
- ・ 令和5年3月27日に一部改正、令和5年7月1日より施行。
 - ・ 仮名加工情報の利用にかかる、インフォームド・コンセントの取扱いがより簡素化された。自機関において保有している情報について、新たに仮名加工情報を作成して用いる場合、必ずしもインフォームド・コンセントは必要なく、適切な同意を得ることができない場合は、オプトアウト文書でよい。
 - ・ 包括的な同意を取得して得た既存資料・情報を用いて行う研究の場合、その後、当該同意を得た範囲内の研究が新たに特定された場合には、当該研究に関わる研究計画書の作成・変更手続きを行う。この場合、オプトアウト文書でよい。
- (2) 齋藤迅速審査小委員長から、令和5年度第2回迅速審査小委員会による審査の結果、以下の6件を「承認」とした旨の報告があった。
- ① 研究責任者: 医学部 公衆衛生学 准教授 村松 圭司
研究課題名: 性差にもとづく更年期障害の解明と両立支援開発の研究: 課題3 レセプトによる受診率調査 (厚生労働科学研究費 22FB1001)
 - ② 研究責任者: IR推進センター 准教授 井上 彰臣
研究課題名: 科学的根拠によるストレスチェック質問票の判定基準の設定
 - ③ 研究責任者: 産業医科大学病院 臨床検査・輸血部 技師(士) 興梶 陸人
研究課題名: 当院において感染性心内膜炎と診断された症例の細菌・生理学的検討
 - ④ 研究責任者: 産業生態科学研究所 環境疫学 教授 藤野 善久
研究課題名: 更年期障害とプレゼンティーズムに関する企業疫学調査 (K 調査) (厚生労働科学研究費 22FB1001)
 - ⑤ 研究責任者: 産業生態科学研究所 環境疫学 教授 藤野 善久
研究課題名: 更年期障害とプレゼンティーズムに関する企業疫学調査 (U 調査) (厚生労働科学研究費 22FB1001)
 - ⑥ 研究責任者: 産業生態科学研究所 産業保健管理学 講師 永野 千景
研究課題名: 職域における個人情報保護と活用に関する意見調査

5 審議事項等

(1) 令和5年度第3回産業医科大学倫理委員会議事抄録（案）が、原案どおり承認された。

6 研究倫理審査

(1) 新規申請 7件

- ① 研究責任者： 医学部 両立支援科学 准教授 永田 昌子
研究課題名： 小規模事業場に対する産業保健サービス提供実態に関する調査
- ② 研究責任者： 医学部 両立支援科学 准教授 永田 昌子
研究課題名： 医療機関での治療と仕事の両立支援の取組みの実態調査と課題解決のためのツール開発
- ③ 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業保健経営学 准教授 永田 智久
研究課題名： 高年齢労働者の就労継続における促進要因と阻害要因に関する調査
- ④ 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業精神保健学 教授 江口 尚
研究課題名： 職場の孤立・孤独を予防する管理者向けの介入手法の開発～前後比較試験による研究～
- ⑤ 研究責任者： 産業生態科学研究所 災害産業保健センター 助教 五十嵐 侑
研究課題名： 科学的根拠に基づいた職域がん検診の普及のためのインタビュー調査
- ⑥ 研究責任者： 産業保健学部 作業環境計測制御学 教授 宮内 博幸
研究課題名： 実際の使用条件下における化学防護衣の透過性の研究
- ⑦ 研究責任者： 産業保健学部 安全衛生マネジメント学 教授 河村 洋子
研究課題名： ストレス・マインドセット変容によるメンタルヘルス向上と禁煙支援：職域保健介入研究

全件、指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

(2) 新規申請（中央一括審査） 1件

- ① 研究責任者： 産業保健学部 産業・地域看護学 教授 中谷 淳子
研究課題名： 中小規模事業場における産業看護職の活用ニーズに関する調査
研究代表機関： 産業医科大学

上記1件について、指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

(3) 変更申請 2件

- ① 研究責任者： エコチル調査 教授（特任教員） 下野 昌幸
研究課題名： 子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）本調査における産業医科大学サブユニットセンター任意調査（8歳、12歳）

- ② 研究責任者： エコチル調査 教授（特任教員） 下野 昌幸
研究課題名： 子どもの健康と環境に関する全国調査 ―両親の出産時年齢が子どもの3歳時の発達に与える影響の検討―

1件（②）は、承認された。

1件（①）は、指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

7 その他

(1) 研究終了報告 14 件、進捗状況報告 10 件が別紙のとおり承認された。

研究終了報告

受付番号	申請者	所属	職名	課題名
CIR3-002	堀 亜弥子	産業精神保健学	助教	テレワーク従事者の睡眠と精神的健康度および労働心理への影響調査のための縦断的観察研究
R3-077	大神 明	作業関連疾患予防学	教授	両立支援に係るPHRシステムとしての携帯アプリケーションの有効性に関する実証研究
IDR3-001	村松 圭司	公衆衛生学	准教授	産科医療提供体制評価のための産科医師及び妊産婦を対象としたアンケート調査
R2-073	村松 圭司	公衆衛生学	准教授	産科医療提供体制評価のためのDPCデータの活用に関する研究
R2-085	村松 圭司	公衆衛生学	准教授	産科医療提供体制評価のための産科医師及び妊産婦を対象としたインタビュー調査
R1-070	永野 千景	産業保健管理学	講師	騒音障害防止のための耳栓着用に関する教育効果の評価
R4-001	中谷 淳子	産業・地域看護学	教授	日本の新人看護師における職場ソーシャル・キャピタルと睡眠障害の関連の検討
R4-071	児玉 豊彦	広域・発達看護学	講師	日本語版TMDP(Tokyo Metropolitan Distress Scale for Pandemic) (Shiwaku et al, 2020)の看護学生用の信頼性と妥当性の検証
R4-062	山本 淳考	脳神経外科学	教授	令和4年度 脳神経外科における実践的な手術手技向上研修
R2-029	金城 泰幸	産科婦人科学	助教	医師の労働や睡眠に関わる日記式セルフチェックが健康状態や労働機能に与える影響を検討する非盲検ランダム化比較試験
H26-242	中村 英一郎	整形外科	准教授	インソール型足底荷重記録計を用いて拘束された立位作業員を選定・対象とし、腰痛予防にコルセットが有効であるか否かを検討する。
R2-031	江口 尚	産業精神保健学	教授	事業場において治療と仕事の両立を支援するための配慮とその決定プロセスに関する研究:インタビュー調査と事例収集
R2-088	田口 要人	産業医実務研修センター	助教	職場で上司と部下が定期的に行う1対1ミーティング(1on1)の効果に関する研究
R4-041	大神 明	作業関連疾患予防学	教授	暑熱環境下における着ぐるみ着用時の身体的影響と内部環境変化

研究進捗状況報告

受付番号	申請者	所属	職名	課題名
R3-009	大森 美保	産業・地域看護学	助教	産業看護学分野における実習の目標達成状況と教育の質に関する検討
CIR4-001	山田 晋平	安全衛生マネジメント学	講師	生体情報の長時間フィールド計測の課題抽出・利活用可能性検討
R2-027	佐藤 寛晃	法医学	教授	陳旧死体の腐敗性アミン濃度の検討
R3-029	小田上 公法	産業保健経営学	助教	我が国における組織の健康風土・健康文化に対する評価尺度の作成
R3-030	小田上 公法	産業保健経営学	助教	高齢労働者における健康と勤労意欲に関連した評価指標に関する検討
R3-043	山本 忍	作業環境計測制御学	助教	有害化学物質取り扱い実験室の「環境改善および安全衛生教育」に活用できる見える化技術の構築

研究終了報告

R3-044	山本 忍	作業環境計測制御学	助教	オルトーフタルアルデヒドの「健康影響とばく露濃度の関係」および「ばく露低減対策」
R4-038	喜多村 絃子	産業医実務研修センター		電動ファン付きマスクのファン稼働設定値がマスク内環境へ与える影響の検討
R4-031	松垣 竜太郎	公衆衛生学	有期助教	高年齢労働者の労働災害、労働機能障害、および健康に関する調査
R2-019	永野 千景	産業保健管理学	講師	暑熱環境下におけるウェアラブルデバイスを用いた暑熱リスク評価の有用性検証